

第9回 大牟田市立学校適正規模・適正配置検討委員会（摘録）

【日時】 平成25年1月24日（木） 15:00～16:30

【場所】 企業局3階 講習室

【出席者】 検討委員会委員 18人（欠席2人）
教育委員会事務局 6人

【傍聴者】 1人

【取材】 1人

【次第】 司会：学校再編推進室主査

1 開会

2 議題

(1) 第8回大牟田市立学校適正規模・適正配置検討委員会の摘録について
修正等はなく了承。

(※ 情報公開センター及び市ホームページでの公表資料とする。)

(2) 配付資料の説明

発言者	発言内容
委員長	説明会、保護者の意見、パブリックコメントの資料を事務局から説明いただき、それを受けて意見交換をしてみたいと思います。意見交換で論点を整理し、検討委員会の考え方を整理していく。それが最終答申に結びついていくというやり方で進めさせていただいてよろしいでしょうか。
全委員	了承。
委員長	まず、説明会、保護者の意見、パブリックコメントの概要について事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料2)の中間報告に対する説明会実施状況、保護者意見、パブリックコメントについて報告し、主な論点を説明。

(3) 中間報告に対する意見につて、検討委員会の考え方の整理

発言者	発言内容
委員長	ポイントを説明していただきましたが、皆さん資料を読まれて質問したい内容などがあるのではないのでしょうか。 また、説明会に参加された方で、雰囲気や主な内容などを出していただき、話を進めていきたいと思います。なにかご質問などはございませんか。
委員	説明会に4回参加しました。1番多いのは通学に対する安全面ということと、すでに中学校の5校再編が決まっているのではないかという意見が非常に多かった。それから特に玉川校区のPTAの方など、どうしてそんなに遠くの学校まで行かなければならないのかとか。また、先ほど事務局から説明があったように、隣接校にいけるような措置は取れないのかというような意見もありました。資料にするとさらっと読めますが、実際に説明会に出席して保護者の方の話を聴くと、安全面は非常に切実なような感じを受けました。委員会でも安全面をもう少し議論してもらえないかとい

	うような話もありました。
委員長	<p>安全面ということになると、通学距離も含めてですね。施設、距離、学校配置の問題が出てきました。それから5校で決定しているのではないかとこのことがあります。右京・船津・延命でも資料を読むと決定しているのではないかとこのことが出てきています。右京・船津・延命は第二次実施計画で計画されているという説明を事務局がされたようです。他の地域もこれで決まっているのではないかとこの意見が多く出ています。</p> <p>それから学校の自由選択です。特に白川小学校の国道沿いとか、下白川町1丁目のところもそうでしょうね。</p> <p>〇〇委員さん、説明会に出席されて共通するのは、今おっしゃったような内容ですか。</p>
委員	<p>子どもの通学の安全。田隈中学校で出た意見は、地域の防災面とか、現在まちづくり協議が進んでいるが、コミュニティが崩れるのではないかと、何世代も続いて学校に行っているのにそれが分断されるというのは、コミュニティの崩壊に繋がるのではないかと、というご意見もありました。</p>
委員長	<p>通学の安全面の場合に、スクールバスの対応だけではなく、道路設備などいろいろあります。特に学校の周辺は、最近安全対策がされていますね。</p> <p>防災については、田隈で橋のことがたくさん出てきています。それから地域が壊れるというのでも出てきていますね。〇〇委員さん、民生委員をされていて、地域からいろんな意見が出ますか。</p>
委員	<p>地域は小学校単位で活動しています。中学校はあまり地域との関係はあまり濃くありません。</p> <p>私の校区では、現在の白光中校区に明治小と白川小があります。白光中は白川校区という感覚で話されるので、明治校区の行事にはあまり参加されません。他の校区もそうだと思います。あるところがメインになってきて、他はそうではない。例えば、地区公民館にしてもそうです。駛馬北と南では、北には地区公民館があるから、防災面で南で良いのではないかとこの意見が載っていました。中学校では、あまり地域を考えなくて良いのではないのでしょうか。</p> <p>白川の問題にしても、国道208号線から西は白光でよいという意見と、下白川だったら駄目だという意見と2通り出ていました。この場合はむしろ校区を区切れば良いのではないかとこの気がします。親がその学校を卒業しているのに、子どもは違う学校に行かなければならないというときは、やはりそういう意見が出てくるのではないのでしょうか。</p>
委員長	<p>中学校の再編の場合は、地域のこととはあまり出ない。小学校再編のほうが、地域コミュニティが壊れていくという意見が多いですね。</p>
委員	<p>コミュニティを考える場合は小学校単位です。</p>
委員長	<p>そうですね。</p> <p>他にも自由に意見を出してください。</p>
委員	<p>中学校の説明会に参加して、特に安心安全でスクールバスはもちろんのこと、自転車通学を拡げて欲しいという意見もありますが、今の大牟田の交通事情を考えて、自転車通学をする環境の安全性をもっとしっかり整え</p>

	ないと不安であるという意見もありました。資料には、自転車は被害者にもなり得るし、加害者にもなり得るという意見も載っていたと思います。
委員長	<p>他の地方公共団体では、自転車通学をするためにきちんと自転車通学をする道路が整備されているところがありますね。まだ大牟田は整備されていないので、自転車通学の許可には自転車道路の整備など環境を改善しなければというのがあるのでしょうか。</p> <p>他にも自由に意見を出してください。</p> <p>橋中学校の防災のことが出ていますね。防災は、水害だけではなく土砂崩れなどもあります。防災については、市で防災マップが作られていますので次回の検討委員会で、防災担当から説明してもらいましょうか。</p>
事務局	パブリックコメントの中で、洪水ハザードマップを添付してご意見を頂いています。また、1月に土砂災害警戒区域等の指定についての住民説明会が行われていますので、次回の検討委員会で防災の担当部署から安心安全面について説明してもらいます。
委員	先日防災担当の課長に橋中の防災面について訊きましたが、防災の避難所は一次指定、二次指定があるようですね。主に小学校が一次指定、橋中は二次指定。台風が主で、今まで洪水があったのか訊きましたら、「洪水が昔あったことは確かですが、知る限り川が氾濫したことはほとんどない」ということでした。ただ、田隈中学校の方が安心というのは事実です。
事務局	避難所は、台風などが近づいて来たときに基本的に各校区に1箇所開設するのが自主避難所で、地区公民館がある校区は地区公民館で、地区公民館がないところは小学校、上内はリフレスも指定されています。避難勧告、避難指示など大規模な災害のときには、指定避難所ということで全小中学校とリフレスや地区公民館など約40の公共施設に避難所が開設されます。次回の会議で、避難所、洪水ハザードマップ、土砂災害の説明会の件について説明させていただきます。
委員長	他にご意見はございませんか。
委員	<p>反省すべきなのは、中学校がどうあるべきかという話で、右京・船津・延命の再編だけを先に計画したことで、この時点で教育のことをやっているのか、まちづくりをやっているのか、まちづくりであるならば跡地はどうなるのか、きめ細かな話し合いを先行して市民の皆さんに説明する必要がありました。当然、近かったのが6kmになったり、すぐ近くの学校に行けないのかということがありますが、これは適正規模の問題と通学距離の問題は別の問題です。この辺を整理していかなければならないのではないかと思います。検討委員会でも5校か6校という話がありましたように、改めてどうなのか検討委員会の中で検討し、もう一度市民の皆さんに説明が必要です。市民の皆さんは当然自分の子どもの学校が近ければよいし、安全であることが良い。再編されたときにどんなことをするのか、積極的に政治的に道路を確保するのか、バスの通学路を何とかしなければならぬといった次の話もしていけないと、市民の皆様は「今のままで良いのではないか」とおっしゃると思います。</p> <p>教育の問題で学校が少なくなった、部活ができなくなった、先生が1人しかいなくなったという話で、この辺を検討委員会の中でまとめて、何と</p>

	<p>非難されようと子どもたちのためにすることなので、決定してはどうかと思います。</p>
委員	<p>跡地のことを検討委員会が決めることが良いのか気になります。</p>
委員	<p>跡地のことは検討しないかということを検討委員会に持ってきてもらっても難しい問題であるから、跡地について大牟田市はどう考えるかという付則をして説明していかなければならないだろうと思います。</p> <p>上官の跡地との話と適正規模・適正配置は違います。この辺を行政がバックアップしていかなければなりません。例えば、避難場所から橋中から他のところに替えようとか、まちづくりの一貫として学校を移動するということを市がサポートしていかなければ、なかなか進まないと思います。</p> <p>跡地をどうするのか、公民館を造れという話をこの検討委員会で検討するのか。跡地は行政が絶対やりますよという担保をしていかなければ絶対進まないと思います。</p>
事務局	<p>跡地の具体的な活用は、市で検討するものと思っています。</p>
委員	<p>もちろんです。市民の皆さんは学校再編ならば跡地は、ということと同時に考えるわけです。</p> <p>跡地は検討委員会で議論する問題ではないと思いますが、しかし説明会では通学路をどうするのか、跡地はという不安が1番多いわけです。北に地区公民館があるが南にしておこうとか。南については市としてもさらに検討して強く進めたいという考えがありますと説明すること、それがまちづくりだと思います。</p>
委員長	<p>たくさんの意見が出たので、それを一つひとつ検討することも必要だが、学校再編により子ども達より良い教育環境をどのようにつくっていくかということをもっと1番考えなければならぬということがひとつ。もうひとつは、地域振興とまちづくりという視点からどう再編していくかということをもっと大局的な考え方で進めていけば、付随したものはその時点で市のいろんな課が対応する。だから市全体で取り組もうと今までずっと話してきた中身だと思います。より良い教育環境をつくっていく、地域振興を図る、まちづくりをしていくという視点から考えていきたいと思います。検討委員会では学校規模と配置という2の柱をつくり、通学距離、規模、配置も考えて、中間報告では中学校を5校にしました。ところが、そこに住んでいる人は学校がなくなるのは寂しいなど、いろいろな意見がありますので、意見として大事にしなければならない。しかし最終的には、先程事務局から出たような視点から考えていって、答申に向けての大きな柱を間違えないようにしたいと思います。委員のみなさんはいかがですか。公民館はどうするのかといったことを議論していても、何年経っても決定できません。やはり大きな柱を出していくのが、検討委員会の責任だと思います。</p>
委員	<p>意見を読んで、学校が変わるのだから大きく通学区域も検討しなければならないと改めて感じました。</p>
委員長	<p>中間報告に対していろんな意見が出ています。例えば、主な意見として白川小学校の問題があります。また、手鎌小学校の橋中学校に近い所の問題、橋中学校と田隈中学校の問題、大正小学校の問題があります。</p>

	<p>例えば、橘中学校を残すとなると、今まで検討した再編案の中の2つが田隈が残る案です。大局的な視点から見て学校規模・配置から見てどうかということ、市民、地域、保護者のご意見から検討してみたいと思います。それと、事務局で整理された論点と併せて、ご意見をお願いします。</p> <p>今日は結論が出なくて結構です。フリーに意見を出し合って、次回かその次ぐらいでまとめていきたいと思います。他の案もご覧になって意見を出してください。</p>
委員	<p>白光中では白光と松原、手鎌小が一緒になって大牟田市内では1番のマンモス校になるという話で持ちきりでした。私も最初の勤務が10クラス近くある大規模校でしたが、以前と今の子どもたちを取り巻く状況は大きく変化していますから、1番大きな学校になったときの様々な問題について教員の立場から考えますと、できるだけ1学年の先生達の数は多い方がよいと思います。中学校では1クラスに担任はいますが、教科担任制であることや複数の先生方で1クラスに関わることができるシステムにある方が、保護者が心配されているいじめの問題にしても、学校が大きくなるほどいじめが増えるということではなく、規模よりも多くの目が届く割合が大事ではないかと思います。大規模校になることへの不安に対して、もう少し教員の立場で伝えていく必要があるのかと思いました。</p>
委員長	<p>マンモス校になったら教員の数も増えるけれども、あまり大きくなるといろいろな問題がありますということですね。</p>
委員	<p>マンモスという言葉になってしまいましたが、私の経験からは、以前のように大きすぎるという規模まではいかないのではないかと感じています。</p> <p>ただ、通学区域の広さというのが保護者としては心配だと思います。自転車通学の安全面についての意見がありますが、学校では子どもの完全下校の時間が、日没の30分前に学校を出て、真っ暗になる30分後には家に帰り着くことができるようにしています。再編の場合に通学距離の問題で、例えば家が遠い子は下校時間を少し早めるなど、学校として実態に応じた下校時間を配慮しなければならないと思います。私の部活では女子が多いので、今でも日没が早い12月の冬至辺りまでは、通常より15分ほど早く下校させます。今でも安全面に関して配慮するということが学校に課せられているのではないかと思います。</p>
委員長	<p>白光中は、平成36年度では17クラスです。以前は大牟田の歴木、田隈、甘木、白光は1,000人を越えていましたので、それほど大きなマンモス校ではないということでしょうね。</p>
委員	<p>今、田隈中以外は2、3クラスで、船津などは1クラスかもという規模ですので、今の保護者としてはとても大きく感じると思います。</p>
委員長	<p>ご意見を読んで、学校規模・配置から変更したが良いという具体的な案はございませんか。</p>
委員	<p>田隈からの意見が1番多いのですが、パブリックコメントにもありましたように、田隈を残すのも防災の面で大事なのですが、甘木中に行つて従来どおり倉永と手鎌、そこに吉野、上内を甘木中にして、田隈が銀水、</p>

	<p>三池、高取、羽山台としたらどうか、平原と白川は白光に持っていったらどうかという意見を述べておられました。そうすると5校です。結局、橋と歴木を減らせば済むという考えで、甘木と田隈を残すと、人数がどうなるのか。</p> <p>ただ、将来的に甘木中に入らなくなるのではないかと思います。校舎を建てる場所がありますか。甘木中を残した場合に防災の面では良いが、継ぎ足して校舎を建てているので、それほどの余裕があるのか、人数を出してもらい柔軟に検討する必要があります。</p> <p>また、4校でも良いという意見もありました。4校ならば、スクールバスを出して安全を確保し、勝立も右京に再編してはどうかとか。上内、勝立でスクールバスを出すと、経常的にとてもお金がかかります。</p> <p>一応人数を出してもらって検討する価値はあるのではないのでしょうか。</p>
委員長	<p>2、3の修正案を作って、10年スパンで見て平成36年度にどのようになっているかデータを出す必要があります。</p> <p>田隈の保護者から出てきているのは、甘木中と橋中校区を一緒にして、上内、吉野、倉永、手鎌で甘木中とおっしゃっています。上内の子は橋までも遠いのにさらに遠くなり、学校は山の上です。そういうことを考えなければなりません。</p>
委員	<p>パブリックコメントは甘木中から中原まで6.4kmと書いてありますが、大体7.7kmあります。スクールバスを出すことも検討課題として良いのではないのでしょうか。</p>
委員長	<p>それから田隈中学校を残して、銀水、羽山台、三池、高取ということは歴木が田隈に吸収されるということです。歴木と橋がなくなって、田隈と甘木が残ると、再編校は5校になります。それでデータが1つ出てきますが、そのためにはもう少し手を付けるところがあるかもしれません。</p> <p>例えば、白光が多いということを考えますと、ずっと以前から出ていた、延命・右京・船津の問題があります。そうすると、大正小学校の複数の保護者の方が白光よりも右京がよいとおっしゃっています。地図を見ると、何回も検討委員会で出ましたが、大正を右京にやると、右京の生徒数は増えます。右京は学校の面積が狭いので延命中のグラウンドを部活などで利用するというのも出てきています。大正を右京にやって、延命中学校のグラウンドを利用すると案外よいというのが1つ出てきます。</p> <p>中間報告では、甘木中学校がなくなった場合に手鎌は白光に行きますが、手鎌校区の橋に近い人達が、橋が良いではないかとおっしゃっています。その辺を調整して、倉永と吉野と上内で橋中学校という方法もあります。</p>
委員	<p>そのときは通学区域を変更して考えていかなければなりません。</p>
委員長	<p>そうですね。田隈については、歴木から田隈に再編校を持ってきて、高取は遠いのでスクールバスなどがあるでしょうね、それから三池。そうすると、中学校の数は5校で適正な規模になると思います。問題は、配置はきれいになりますが、小学校の子どもたちも中学校進学時に2つに分かれないほうが良いという意見が三池から出ています。白川と平原の再編をする。そして大正が右京に行ったら、白川と平原を白光にすれば距離が近く、208号線や下白川町1丁目などで2つに分かれる必要がないという論法も成り立ちます。</p>

	<p>いくつか中間報告の修正案を事務局で作って、次回提示してもらいます。再編は1つでも難しいのは当たり前で、簡単に出来る学校は1つありません。それは大牟田だけでなく、どこの地域も同じです。最終的には住民の方とともに考えて悩んで、合意を作っていく他はないと思います。それは、より良い教育環境を作る、地域振興を図る、まちづくりということに全部繋がります。そういうことをご理解いただければ、地域の将来を考えた場合は良いのではないかと、子どもたちのためにプラスになるのではないかと思います。</p> <p>みなさんの意見をお願いします。</p>
委員	<p>甘木中学校というご意見がありました。施設の範囲として大丈夫でしょうか。甘木中は山で体育館も山の上にありますので、そこにみんなが通うことになれば、施設の改善にかなりかかると思います。甘木中は土地が狭いので、山を切ったりしなければならぬのではないのでしょうか。</p> <p>それから大正小のことを言われていましたが、右京・船津・延命の3校の再編が決まっていますので、そこに新たに大正を編入しても良いのでしょうか。</p>
委員長	<p>第二次実施計画では3校ですので、なるべくなら3校での再編が良いですが、検討委員会でも大正を右京にという意見が出ていました。中間報告の説明会では、最終的にはそれも加味して最終答申を出すことを説明していただいているので、検討して良いのではないのでしょうか。なるべくなら、それを良いとする地域のご意見も検討しなければなりません。修正案をいくつか出して検討します。</p>
委員	<p>先程、〇〇委員が言われたように、距離が遠くなるとスクールバスが必要になると思いますが、その経費等がどうなのか先が見えません。</p>
委員	<p>跡地と同じで、検討委員会の権限がどこまであるのか、スクールバスを出すことを検討委員会で決めてよいのか、検討委員会としてもやりにくいところもあります。ただ、ある程度スクールバスを出さなければならない状況になってくるのではないかと思います。例えば、手鎌と倉永と吉野と上内を一緒にすると、広大な広さです。校区の中心は橘ですが、防災の面を言われるならば、再編校を甘木に持っていくしかない。</p>
委員	<p>防災の面でというのが全部水害のことしか書いていないようですが、甘木中の場合にはがけ崩れがあります。その点を考えると、甘木中も安全ではなくなります。実際に平成23年のがけ崩れが発生しました。</p> <p>学校の裏の竹藪も、昔子どもたちが遊んで事故を起こしていることもあり、結構危ないです。防災の面から甘木中を再編校とするならば、学校の裏にしっかりフェンスをしないと安全とは言い切れないと思います。</p>
委員	<p>避難路は2つあるのですか。</p>
委員	<p>線路を渡るところと2つあります。</p>
委員	<p>避難路はあるけれど狭いですね。</p>
委員	<p>陸橋もそんなに一度には渡れません。</p>

委員長	鉄道の問題もあります。そういうことを考えると、甘木も橘もそんなに変わりません。ただ、甘木が高いところにあるのは事実です。
委員	3. 1 1 があってから水害ばかり皆さんがおっしゃっているようですが、本当にハザードマップを考えるならばがけ崩れなども考えないと、防災面は完璧ではないのではないかと思います。
委員長	先程のスクールバスの問題は、検討委員会でスクールバスを出す、出さないという問題ではないと思います。これは、再編計画が決まった後に学校再編協議会の中でスクールバスの話が出てくればよいので、検討委員会でスクールバスを出す権限はないと思います。 ただ、スクールバスが必要という認識をお互いにするだけの問題という捉え方でい겠습니까。そうしないと、スクールバスなら歩道橋はといったいろんなことが出てきます。
委員	スクールバスは上内でも検討しました。ところが55番の西鉄バスが運行されていますので、その路線にはスクールバスが走れないという問題があります。行政と協議しましたが、スクールバスは最終的には陸運局の許可が必要ということで、民・民の送迎をしないとイケないということになりました。スクールバスはなかなか難しいところがあります。路線バスが運行されているところでのスクールバスは基本的には駄目で、路線バスを活用してくださいということです。
委員長	高等学校ではスクールバスがありますが、義務教育のスクールバスの場合には認められないのですか。
委員	スクールバスの検討委員会を開いて、そこで協議しなければならないということでした。西鉄や陸運局など関連するところから出席してうまくクリアすればよいけれど、例えば西鉄バスの路線がマイナスだから駄目だと言われたら、許可はなかなか難しい。それで、地域でワンボックスカーを購入しました。
委員長	それではここで確認しながら進めます。中間報告で出したDの②案を一部修正する形で2、3の案を作って、将来の児童生徒数、学級数がどうなるのか推計を出してもらおうということを確認しておいてよろしいですか。
全委員	了承。
委員長	それでは、その中身を確認します。 甘木中と田隈中を残すということですが、今の話だと甘木も橘も防災面からはあまり変わらないので、橘中学校はそのまま残して手鎌小学校は中間報告のとおり白光にする。田隈中学校は残して歴木と一緒にするという案も1つあります。その逆もあります。大正小学校の問題もあります。それで修正案を作ってもらってよいでしょうか。
委員	中間報告の配置図を見ると、中学校は大体校区の真ん中にあります。今のような修正案では学校が校区の端になったりします。
委員長	修正案について意見を出してください。

委員	今出ているのは、以前議論したA、B、C、DのD案ですか。
委員長	Dの②案です。
委員	5校を絶対変えないのならD案を修正し、6校もあるのならば以前議論したC案を一部修正して出したらどうでしょうか。今のD案を修正するというになると、規模などをもう1回やり直すということですよ。
委員長	<p>C案をご覧ください。C案は田隈があるけれど6校ですね。C案の欠点は、論議されたように米生、田隈と橘の学級数が9学級で小規模です。A案も田隈がありますが、歴木が7学級で、田隈も米生も9学級です。AもCも学級規模からは弱いということになると思います。</p> <p>中間報告を出すときに、最終的にDの②案とBの②案で論議しました。Bの②案をご覧ください。この案では甘木は残ります。田隈は橘と一緒に橘になります。甘木は残りますが、米生と変わらず9学級で1学年3クラスです。いろいろ考えた結果、学校規模から中間報告になりましたが、Dの②案の一部修正がどうなのかということで検討せざるを得ないのではないかと思います。そうすると、やはり田隈と歴木の問題になります。田隈の保護者がおっしゃっていたように、田隈が銀水、三池、羽山台、高取という案がありますね。これは、歴木が田隈と一緒に、田隈が再編校だということです。ちょっと高取が遠くなりますが、学校数は5校です。</p> <p>田隈を再編校にして歴木がなくなると考えると、平原と白川を再編する計画で中学校を白光にすると、1つの小学校が2つに分かれることはありません。そうすると、白光は手鎌、白川、平原、明治、中友、大正になり多すぎます。そこで、検討委員会でも出ていましたし、保護者からも多数の意見が出ていたように、大正を右京に持ってくると、生徒数、通学距離もバランスが良くなるという案もあるかもしれません。橘は、上内、吉野と倉永です。</p> <p>保護者の意見では、田隈を残して銀水、三池、羽山台、高取。白川と平原は白光。</p>
委員	橘中学校の件ですが、橘中学校は銀水小校区です。橘中は人数的にどうでしょうか。橘中は、倉永、吉野、上内の3校に銀水小の半分を持ってこない、人数が少なくなるのではないかと思います。逆に田隈中を羽山台、白川、平原、高取、三池はどうですか。
委員	通学区域に手をつけなければなかなか難しい問題ですね。我々が知っている昭和20年代からのことだけで、皆さんこの小学校はこうだというのがありますが、新しい歴史が始まるのだからここで通学区域も変えていかなければなりません。そのためには、地域コミュニティが小学校単位であるので、小学校をどうするかというのも並行して検討が必要です。通学区域を考えていかなければ、昭和20年代でできた小中学校のことをずっと続けるのではなく、新しい歴史を作っていくのだから、校区、通学区域も変えなければいけないのではないのでしょうか。そうしないと、今のままで当てはまりませんので、面からしたら最終的に歴木になります。
委員長	今のご意見は、銀水は2つに分かれるということですか。

委員	今もすでに2つに分かれていて、1つの小学校区に2つの中学校があります。
委員長	その人数はあまり関係ないのではないのでしょうか。
委員	今は人数よりも区域を新しく考えなければ行けないのではないかというご意見です。
委員長	今出された意見で、事務局で修正案を作成できますか。
事務局	橘に倉永、吉野、上内だけだと、橘は銀水校区に入っていますので、今の校区の線引きで案を作成させていただき、現在の田隈校区の銀水と、高取、羽山台、三池を田隈に入れて、白川、平原を白光、大正は右京に入れて案を作成します。
委員	修正案を検討してみて、結論として、中間報告のような状況に戻ると思っています。
委員	通学区域を整理してどうなるかということも考えたいです。通学区域をきれいに分けて再編したらどうでしょうか。 例えば、銀水も橘中のところにありますが、歴木を残して線引きするとか。近いから遠いからというご意見が大分多いようです。
委員	そうですね。甘木中の近くはやはり白光中に行くより橘が近いので、橘に行くことはできないのかと保護者の方からよく言われますが、今は何とも言えないと答えています。 最初は、1つの小学校から同じ中学校に進学するということでしたが、選択制ということができるのかどうか。今までは甘木中が近いので甘木中となっていました。今度は橘中の方が近いので橘中に行けないのかということをよく言われますが、返答しようがありません。 大正小学校も右京中が近いからということでの意見が多いのだと思います。そうすると、大牟田小の北部の白光中付近も考えなければなりません。そういった校区の線引きを検討委員会で考えてよいのかどうか。そこまで権限はないではありませんか。
事務局	大牟田小の新栄町付近については、第二次実施計画のときもご意見がありました。今回市の全体計画を議論している検討委員会で検討するとなると、まとまるのが難しくなるのではないかと思います。検討委員会では基本を検討していただいて、狭間のところについては実際の再編までには期間がありますので、今後通学区域審議会などで見直して進めていく形になるのではないかと思います。一気に全部を変えるのは難しいと思っています。
委員長	今の件はそれではよろしいのでしょうか。 校区外通学を認める方法もあるし、規則を改正して校区を変えてしまう方法もあります。運用するとき、例えば再編後の2年間校区の自由選択をする方法もありますが、あまりそういうことをするのはなく、通学区域審議会できちんと審議していただいて、現地調査をして住民のご理解をいただいて進めていくということではよろしいのでしょうか。

	他に案はありませんか。
全委員	なし。

(4) 議事のまとめ

発言者	発言内容
委員長	今日は具体的に説明会、保護者のご意見、パブリックコメントの内容を検討委員会で把握して、具体的に今後の方向性をどうするかということで論議し論点を決めました。次回は中間報告の一部修正案を出していただき、それを検討して、最終的にはもう1度見直して最終答申を作っていくということをご理解いただいてよろしいでしょうか。最終目的は、再編を通して大牟田の学校がよりよい学校になっていく、地域・まちが活性化していくことです。そのために検討委員会は責任があるのですから、住民の方のご意見を100%聞くことはできないかもしれませんが、最終答申に向かって全精力を向けて頑張りたいということで、本日はこれで終了してよろしいでしょうか。
全委員	了承。

(5) その他

発言者	発言内容
委員長	事務局から次回の日程も含めてお願いします。
事務局	次回は2月13日(水)の午後3時から予定させていただきます。改めて開催通知を送付させていただきますが、場所は302会議室です。
全委員	了承。

3 閉会